

桜蔭中-対策法

算数 (100点/50分)

【1】【2006年出題内容】

桜蔭の算数は、多くの女子校が出題するような典型的な問題ではなく、男子上位校と同じような問題です。つまり、高い計算力はもちろん、見たことのない問題であっても題意を正確に抽出する力が問われます。2006年入試も、難問ではないにせよ、□以外は、計算処理能力を要求するとともに、条件を整理し場合分けをしながら調べ上げる問題が出題されました。□□については、

⇒ [石原先生\(元日能研\)の詳細解説](#)

をご覧ください。受験者の平均点が約6割、合格者の平均点が約8割となり、算数での得点差が特に大きいのが特徴です。

ただ、思考力に優れている人ならば、例え偏差値が60台前半であっても、十分戦えます。もし、志望校について桜蔭か女子学院か悩んでいる人は、対策法が全く異なりますから、まずは自分が桜蔭向けかどうかチェックしておく必要があります。次に、小学5年生でもできるチェックテストを用意しましたので、チャレンジしてみましょう。制限時間は、2題で20分です。さあ、頑張れ！

【2】【桜蔭中合格力チェック】 受験ドクターオリジナル類題

① A, B, Cの3人がおはじきを3個ずつ持っています。このおはじきを、まずAがBに、次にBがCに、最後にCがAにそれぞれ何個か渡しました。このとき、3人が持っているおはじきの個数の組み合わせは何通りですか。ただし、3人それぞれがいつでも1個以上のおはじきを持っているようにします。

② 充電式の電池1本で豆電球を点灯させる回路があります。この電池1本では、初回の充電後に豆電球を20分間点灯させることができます。充電を繰り返すうちに、豆電球を点灯させることができる時間が1回ごとに2分ずつ少なくなります。充電にかかる時間は電池1本につき15分間必要で、充電の途中で電池をはずすことはできません。充電器から回路へ、回路から充電器へとつなぐ時間は考えないことにし、充電器はたくさんあるものとして、つきの問いに答えなさい。

- (1) 8回目の充電がすすんでいる電池を回路につなぐと、何分後に豆電球が消えますか。
- (2) 初回の充電がすすんでいる電池を2本使って、豆電球を連続して点灯させることができる時間は何分間ですか。
- (3) 5回目の充電がすすんでいる電池を3本使って、豆電球を連続して点灯させることができる時間は何分間ですか。

【3】 【 傾向と対策 】

正解は、① 18 通り、② (1) 6 分後 (2) 122 分間 (3) 96 分間、となります。ただ、みなさんがこの問題に正解したかどうかはあまり問題ではありません。重要なことは、問題にのめり込んでいけたかどうか、粘り強く取り組めたかどうかです。女子の場合問題との相性がとても重要です。この前のサンデー・ショックのときでも、桜蔭に合格して JG に落ちた、あるいはその逆の現象が起こったのはそのためです。

①の場合、B の持っているおはじきの数は 1 個以上 4 個以下、C は 1 個以上 6 個以下、A は 2 個以上 7 個以下ですから、あとは A, B, C のもっているおはじきの個数の組み合わせを表にするなどして調べるだけです。この問題に粘り強く取り組めた人は、今回はたとえ間違ってしまったとしても、今後要領のよい整理の仕方を身につければ桜蔭に合格することができます。このことは②についても同様です。設問の条件を上手に使い切ることができるかどうか勝負の分かれ目です。

桜蔭対策としては、男子上位校受験者と同じような問題に取り組まなくてはなりません、あまりテクニックを要する問題に引きずられてはいけません。複雑な相似の問題は捨てて、見たことのないような規則性の問題、組み合わせの問題、速さの問題を中心に練習していきましょう。なお、2006 年は例年出題されていた立方体の問題は出ませんでしたが、来年はサイコロも視野に入れて対策していく必要があります。

また、算数の学習法にはセオリーがありますから、

⇒ [東先生\(元サピックス\)の指導方針](#)

⇒ [石原先生\(元日能研\)の偏差値20アップ学習法](#)

を参照してください。

【4】 【 桜蔭算数 合格への道程 】

偏差値 (四谷)	51~55	56~60	61~65	66~70
君の学年				
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

桜蔭の 80%合格圏(4 科)は、四谷大塚で偏差値 70 以上、センター模試で偏差値 67 以上、サピックスで偏差値 60 以上、が目安です。

桜蔭の入試で、合格者平均と全体平均の差が最も開くのは算数です。まずは偏差値 60 台を安定して確保できるようになれば、安心して桜蔭対策に打ち込めるでしょう。しかし、6 ヶ月以上も点線のように偏差値が伸び悩んだままですと、初めは晴れマークでも、結局は雨マークになってしまいます。夏休みの難関対策に間に合うように対策をすすめる必要があります。

桜蔭中-対策法

国語 (100点/50分)

【1】 【 2006年出題内容 】

大問一で論説文(高階秀爾「新版 日本美術を見る眼 東と西の出会い」約 4000 字)、大問二で物語文(岩瀬成子「となりのこども」約 7000 字)が出題されました。大問二は、本文が昨年の約 3 倍、記述は昨年より 100 字増えて 250 字になりました。物語文では、心情説明を問う設問が 2 題に定着したようです。

【2】 【 傾向と対策 】

2006 年の大問一の設問は、次のようなものでした。

問一 a~d の片仮名を正しい漢字にしてください。

問二 傍線1に対抗するために、西欧においてどのような手段がとられましたか。これまで述べられてきたことをふまえて説明してください。

問三 十七文字しかない俳句の中に、季語を入れなければならないのは一見不便なきまりのように思われますが、そのきまりはどうして大事にされてきたのですか。本文の内容をふまえて説明してください。

問四 傍線2とありますが、西欧の詩人がこのような気持ちになったのは、どうしてですか。くわしく説明してください。

問五 傍線3について次の問いに答えなさい。

(ア)「西欧の個性信仰の行き詰まり」とはどのようなことですか。現代の社会のできごとと結びつけて説明してください。

(イ)日本文化の伝統のどのようなところが(ア)に挙げた「行き詰まり」を切り開けると思いますか。本文全体をふまえて自分の言葉で説明してください。

また、大問二の設問は次のとおりです。

問一 (A)・(B)にあてはまる言葉を次のア~オから選び、記号で答えなさい。

ア みしみしと イ じりじりと ウ いっせいに エ ずけずけと オ つかつかと

問二 (C)にあてはまる、その時の由希の態度を示すひらがな五字のことばを答えなさい。

問三 傍線1での、万里絵と久美の気持ちを説明してください。

問四 傍線2での由希の気持ちを、本文全体をふまえて、二百五十字以内で説明してください。

大問一と大問二に共通点があることにお気づきでしょうか。気付かない方は次の大学入試問題をみてください。

問五 傍線の箇所(エ)『「行」というものが人間に対してもつ本質的な意義』とはどのようなものか、本文全体の趣旨をふまえて 60 字以内で説明せよ。(東北大)

問四 筆者は「歴史」と「自由」との関係性をどのようにとらえているのか。全体の論旨を踏まえた上で、120 字以内で説明せよ。(北海道大学)

もうお気づきだと思います。桜蔭中の国語では、大学入試と同じく「全体把握」を求めているのです。出題意図は、「コミュニケーション力」、つまり他者の意図を取り違えることなく汲み取る能力を試す点にあります。現代の学生にコミュニケーション力が不足しているという問題意識に裏付けられているのです。実際、国語の記述の採点をしていると、本文の一部分だけをまとめただけの答案であるために、筆者の問題意識とズレていると評価せざるを得ないものが多く見受けられます。




2006 年の入試では大問一問五(イ)で自分の意見を述べる問題が復活しましたが、こうした設問で大きな差がつくことはありません。桜蔭必勝法は、文章全体を通じて筆者の言いたいことのど真ん中をつかめるかどうかにかかっています。

















桜蔭のようにボリュームのある文章の全体を把握する力を養うためには、段落ごとの内容をメモしながら読むとよいでしょう。初めは時間がかかりますが、慣れてくれば大きな武器になるはずです。物語文では、登場人物ごとの心情、場面の变化をメモするなり、マークをつけるなりして読みすすめてください。

また、2006 年の大問一のような日本文化の特徴をめぐる本格的な論説文では、語い力がものをいいます。文章を読む中で分からない語句が出てきたら、必ず辞書を引くという習慣をつけておきましょう。

さらに、記述力を高めるために、文章を読んだら 150 字程度の要約文を書くようにしてください。一度や二度やただただでは意味がありませんから、週に 1 回と決めて実行するのがよいでしょう。

【3】 【 桜蔭国語 合格への道程 】

 合格可能性 80%	 合格可能性 50%	 合格可能性 10%
---	---	---

偏差値 (四谷)	51~55	56~60	61~65	66~70
君の学年				
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

桜蔭の 80%合格圏(4 科)は、四谷大塚で偏差値 70 以上、センター模試で偏差値 67 以上、サピックスで偏差値 60 以上、が目安です。

桜蔭の国語は国公立大学なみの難しさです。ですが、求められているのは筆者とのコミュニケーション能力です。そこに気付けば成績もみるみる上がることでしょう。半年がんばっても偏差値が 60 を上回ることができない人は、国語の勉強法を根本的に見直す必要があるでしょう。雨マークの人は、

[⇒ 永田先生\(日能研\)の国語教室](#)

[⇒ 国語偏差値20アップ学習法](#)

桜蔭中-対策法

理科 (60点/30分)

【1】 【 2006年出題内容 】

てこと浮力、氷の融解、フナの体のしくみ、季節と太陽が出題されました。標準的な問題なので、8割以上の正解率が必要です。氷の融解の問題については、まともに熱量計算をすると難しいのですが、規則性を見つけてあてはめると容易に解くことができます。このような問題が“桜蔭らしさ”といえます。では、みなさんが桜蔭タイプかどうか診断してみましょう。次の問題にチャレンジしてみてください。さあ、がんばれ！

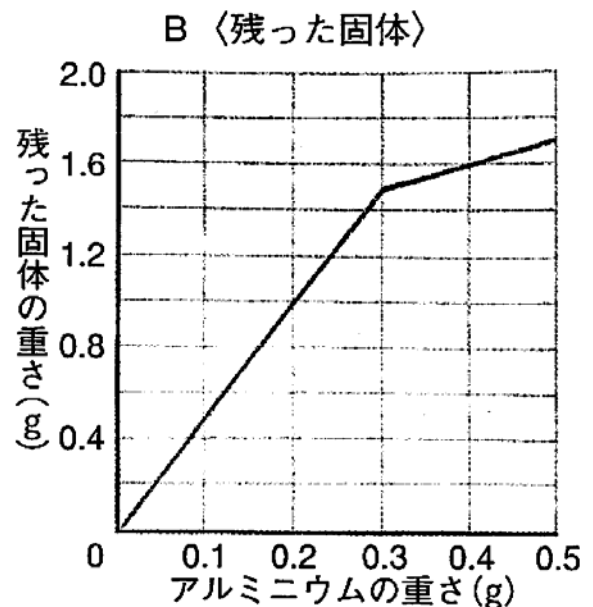
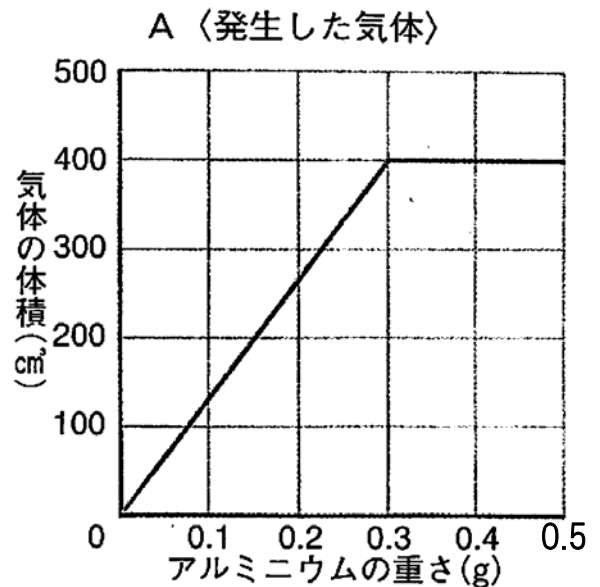
【2】 【 桜蔭中合格力チェック 】

Aのグラフは、同じ濃さの塩酸 15cm³にいろいろな量のアルミニウムを溶かし、発生する気体の体積を調べたものです。Bのグラフは、Aの気体の発生が終わった後の液体を蒸発させ、残った固体の重さを調べたものです。

- (1)この塩酸 30 cm³に、0.75gのアルミニウムを溶かしたとき、発生する気体は何 cm³ですか。
- (2)(1)のあと、塩酸かアルミニウムのどちらかを加えて過不足なく気体を発生させるとき、どちらを加えればよいですか。また、それを加えたとき、発生する気体は何 cm³ですか。
- (3)この塩酸 20 cm³に、アルミニウム 0.5gを加えて反応させると、溶液中に何gの塩化アルミニウムができますか。
- (4)(3)の反応後、熱して蒸発させると、蒸発皿には全部で何gの固体がのこりますか。

<解答>

- (1)800 cm³ (2)塩酸, 200 cm³
 (3)2.0g (4)2.1g



【3】 【 傾向と対策 】




さて、いかがでしたか。正解・不正解は今では関係ありません。桜蔭を目指すみなさんがどのように解いたかが問題です。開成を初めとした男子難関校志望者は、問題から条件を抽出して比例式を用いて解きます。

















	アルミ	塩酸	水素	塩化アルミ
	0.3 g	15 cm ³	400 cm ³	1.5 g
(1)	0.6 g	30 cm ³	x cm ³	
(2)	0.15 g		y cm ³	
(3)	0.4 g	20 cm ³		Z g

しかし、桜蔭志望者が比例式で解いたとしたら、ちょっと考えものです。理科は算数と違って観察力を重視する科目ですから、何が何でも計算で押し切るのは好ましいとはされていません。実際、2006年のⅡは計算で押し切ろうとした人は相当時間を食ったことでしょう。

上の問題は、AとBのグラフを見ながら、計算を用いずに解いてください。例えば、(2)は、(1)より塩酸 30 cm³にアルミニウム 0.6gが過不足なく反応するので、アルミニウムは0.15g余ります。従って、グラフAより、余ったアルミニウム 0.15gに過不足なく反応する塩酸は 200 cm³となるのです。比例式より圧倒的に早いですね。これが“桜蔭らしさ”なのです。

【4】 【 傾向と対策 】

 合格可能性 80%	 合格可能性 50%	 合格可能性 10%
---	---	---

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

桜蔭の 80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値 70 以上、センター模試で偏差値 67 以上、サピックスで偏差値 60 以上、が目安です。

桜蔭の理科は標準レベルで、生物・地学・物理・化学の4分野からまんべんなく出題されます。まずは苦手分野を無くすことに専念して、着実な偏差値アップを目指してください。小6の1学期は時間に少し余裕があるにもかかわらず、理社をおろそかにしている人が多く見受けられますが、後で必ず後悔することになります。1週間に1~2日は理社の苦手分野対策の時間をとりましょう。

桜蔭中-対策法

社会 (60点/30分)

【1】【2006年出題内容】

大問Ⅰは桜蔭中の学校行事で訪れる地域の地理と歴史、大問Ⅱは情報化社会、大問Ⅲは近代史と政治・国際、という出題内容でした。記述式問題は地理・歴史それぞれ1問、そのほかは多肢選択式の問題です。知識が正確でないと迷ってしまう問題や、注意していないと見逃してしまうような問題が多いのが特徴です。主体的に学習し、理解や考察力を磨く学習姿勢が求められているといえます。

【2】【傾向と対策】

受験生は、ともすれば一問一答形式の暗記型の学習に走りやすいのですが、それでは桜蔭の問題に歯が立ちません。単にキーワードを知っているだけではなく、それに関連した原理、背景、今日的な出来事との関連性など、多角的な観点から類推しながら問題に取り組めるようにしたいところです。

そのためには、まずは1冊の問題集を繰り返して基本事項を頭に入れることがまず必要です。6年の夏休み前までに一通り頭に入っていることが望ましいでしょう。その次は、桜蔭の過去問のほか、類似傾向の筑波大附属駒場の過去問に取り組みましょう。知らない事柄がでてきてもあせってはいけません。それまでに得ている知識に似たものがないかを考えるようにしてください。そうすることによって、未知の問題に対する対応力も身につきます。

時事問題対策としては、最近の出来事の名前だけを知っていても桜蔭の問題には対処できません。その出来事に原因、背景、影響、結果などについて理解を深めておく必要があります。そのためには、現代用語の基礎知識(自由国民社)や日本国勢図会(国勢社)をマメにひく習慣をつけるのが一番です。また、国際社会については今後も要注意ですから、ものの見方を学ぶためにも、「そうだったのか！日本現代史」(池上彰著、集英社)をぜひ読んでください。

【3】 【 桜蔭社会 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

桜蔭の 80%合格圏(4 科)は、四谷大塚で偏差値 70 以上、センター模試で偏差値 67 以上、サピックスで偏差値 60 以上、が目安です。

偏差値が 60 台の人でも自信をもって桜蔭の問題を解ける人は少ないでしょう。社会が得意な人でも、問題の背後にある原理や大局的なものの見方をつかむようにしてください。また、社会が苦手な人にとっても、桜蔭のように考させる問題はかえって興味を引くチャンスかも知れません。6 年生の 1 学期までに苦手分野をなくすように努力してください。